

【研究シーズテーマ】

地球観測衛星データを用いた 土地被覆状況の定量的な把握

環境学部 地球環境学科 准教授 **伊藤 征嗣**

Keyword

リモートセンシング／地球観測衛星／土地被覆分類／地物推定



【研究シーズの概要】

地球観測衛星から受信されるデータは広域で定期的に観測することができ、土地被覆状況を容易に把握できます。しかし、定量的に地物の被覆率を求めるにはデータを解析する必要があります。私たちは植生の被覆率を詳細に分析する方法を新しく提案しました。この方法によって、低い解像度で安価な地球観測衛星データでも詳細に被覆率を推定することができます。さらに、被覆率だけでなくそれ以外の地物の被覆率も推定することができます。

◎広島市周辺地域の植被率推定結果の可視化



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 地物調査のためのコストを削減することができます。
- 地物の被覆率を定量的に測ることができます。

【産業界での展開・用途】

- 土地被覆調査
- 植物繁茂調査
- 土砂災害等の土地変化検出への応用

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
(事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp